

Johnan Journal Vol.31

仙台城南高等学校 大学と接続した新しい学びの創造

祝卒業 仙台城南高校第二期生

3月1日、平成28年度第54回卒業式が、多くのご来賓の方々や保護者の見守る中で厳かに行われました。本年度の卒業生は仙台城南高等学校の第二期生に当たり、287名が晴れやかな表情で新たな活躍の舞台へ羽ばたきました。

校長式辞

校長 久力誠



校長 久力誠 先生

『「人生」のこと あまりにも問題ばかり起きるから 難問解決プログラムなのかと思っていただけけれど 気付いたんだ「プレゼント」みたいなものなんだって・・・』4人組のバンド SEKAI NO OWARI が、2015年のNHK全国合唱コンクール、中学校の部の課題曲として書き上げたヒット曲、『プレゼント』のフレーズです。歌詞はこう続きます。『いま君のいる世界が 辛くて泣きそうでも それさえも「プレゼント」だったと笑える日が 必ず来る・・・』仙台城南高等学校の3年間は、様々な「プレゼント」と向き合いながら、それぞれが個性を発揮することで、宮城県随一の私立高校を目指してきました。ただ今、卒業証書を手渡しました、2期生 287名と、保護者の皆様には、3年間、この目標に向かって共に歩んでいただいた事に、心より感謝申し上げますと共に、ご子息、ご息女が、立派にご卒業を迎えられたことを、お慶び申し上げます。本日、学校法人東北工業大学理事長樋口龍雄様、東北工業大学学長今野弘様はじめ、多くのご来賓の方々をお迎えして、こうして皆さんの前に立っていると、改めて3年前の入学式がよみがえります。

さて、仙台城南高校は、**大学と接続した新しい学びの創造**を基本理念として、ICTをツールとする探究学習や課題研究、国際交流をはじめとするグローバル教育に、すでに5年間取り組んできました。皆さんと共に、実践を通して築き上げてきた仙台城南高校の教育は、時代が求める教育スタイルとして、周囲からも信頼され、入学生の大増につながっています。これまで不可能と思われていたことにチャレンジする、それが仙台城南高校です。振り返ってみると、皆さんと過ごしたこの3年間は、他校にはない、時代を先取りした取り組みを通して、時代の変化を感じ取るセンスと、変化に対する判断力、行動力を身につけるチャンスが、沢山あったことがわかります。教育は、人の心を育む行為そのものですから、私たちはこれからも、ここ仙台城南の地から、21世紀を支える新しい教育の形を提案していきます。皆さんは最も大切なパートナーです。いつでも、いつまでも、母校は皆さんの後ろ姿を見守っています。そして、3年間、何度も確認してきた「**私たちは宮城県随一の私立高校生である**」というプライドこそが「生きる力」であることをもう一度心に刻み直し、それぞれの人生にチャレンジして下さい。結びに、次の言葉を贈って、私の式辞と致します。

It is in your moments of decision that your destiny is shaped.

あなたの運命が決まるのは あなたが決断する瞬間なのです

私も皆さんと一緒に、仙台城南高校を卒業します。

それでは、Good Luck !

(抜粋：本校ホームページにも掲載)

答辞

卒業生代表 赤井澤 朋美

探究科 蒲町中出身



赤井澤朋美 さん

『世の中に たえて桜のなかりせば
春の心は のどけからまし』

桜はなぜ咲く時を知っているのか。旅立ちの春を迎えた今、桜を見ると、たくさんの思いが込み上げてきます。今日は心を奮い立たせ、最後の挨拶を申し上げたいと思います。

本日は私たち卒業生のためにこのような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様、久力校長先生を始め先生方、在校生の皆さん、数多くのご祝辞ありがとうございます。そして私たちの家族に、心から感謝申し上げます。

この3年間を振り返ると、私たちは「仙台城南高等学校第二期生」として入学しました。三年生は「東北工業大学高等学校」の先輩として君臨しており、工大高校の歴史の重さをひしひしと感じながら、新しい環境の中で、自分の居場所を探すことに必死だった一年生。本校の特色であるICT教育を多様な授業で受けてきました。端末のルールから設定、プレゼンの方法、グループワークでのフォローシップと覚えることが多く苦労の日々でしたが、発表という形に残る成果に、やりがいと探究心が生まれました。「探究する力、思考力」を鍛えるツールとしての本校のICT教育は、ICT教育の先進校として、東北の拠点校としての誇りがここにありました。

進級して二年生。三期生としての後輩が入学し、全学年が城南生となり、「私たちが仙台城南高校を作っていくのだ」という意識を明確に持ち始めました。体育祭では新しい競技への挑戦。夏の文化部合同発表会立ち上げ。年々大盛況となる城南フェスティバル。城南の歴史を作るバトンを先輩から引き継ぎ、もっともっと上を目指して進まないといけないという思いに駆られていました。

そして三年生。卒業後の自分を描きながら煩悶した日々。この3年間で培った思いとして、1は2ですぐ終わるようなものではなく、1は2345...と一つ一つを経由しながらゴールへと向かっていくもの、それは決して途中自己完結で決めつけるものではなく、自分次第で、生きていけば、ずっと進んでいくことができるものであると知りました。

あの頃に戻りたい気持ちと、戻れない時間を噛みしめ、さよなら仙台城南高等学校。いつの日かまた会う日まで。

最後に、仙台城南高等学校のますますのご活躍を祈念し、ここに後輩へのバトンを繋ぎ、答辞といたします。

(抜粋：本校ホームページにも掲載)

城南第二期生進路 進化した学びのその先へ

東京大学 文科Ⅲ類 合格

先生を信頼して栄冠をつかむ



若松希絵さん
特進科
2017年3月卒業
八軒中出身

毎日、学校で朝7時台から夜8時まで勉強しました。先生にはいつでも質問できるし、サポート体制は万全。東大の過去問や予想問題を毎日のように添削してもらい、ぐんぐん力がつくのを実感しました。二次試験の直前、担任の先生が励ましてくれた言葉をお守り代わりに本番に臨みました。城南だから合格できた、心から思います。

山形大学 工学部 合格

とことん親身な指導を受け合格



佐藤太一君
探究科
2017年3月卒業
七郷中出身

発光を伴う物理現象を利用した有機発光ダイオードに興味があり、専門的に研究できる山形大に目標を定めました。苦手の英語は毎週土曜のマンツーマン授業のおかげで克服。数学と物理も個別に2次試験対策の添削をしてもらい、とことん面倒を見てもらいました。先生方のおかげで、最後まで頑張れたと感謝しています。

東北工業大学 工学部 合格

内部推薦制度で東北工業大学へ



遠藤和典君
科学技術科
2017年3月卒業
仙台第一中出身

東北工業大学の先生方は専門家ぞろいで、工業系進学を目指す人には断然お薦めです。僕は内部推薦制度のおかげで受験に焦りがなく、将来をじっくり考えられました。

研究発表では、最初はすごく緊張して何も言えなかったが、「失敗しても大丈夫」という温かい雰囲気のおかげで成長できました。

<探究学習> 探究科「生命ゼミ」



渡邊義斗君
探究科2年
長町中出身

3月12日、八木山動物公園で、一般の方を対象に動物ガイド実演(探究科「生命ゼミ」授業)を行いました。動物園には、それぞれの動物の魅力的なところを伝える「見せ方」の工夫があると思いました。



<ガイド実習風景>

<新モンゴル高校生徒来校>



<新モンゴル高校の生徒さんとガウラ理事長さんと久力校長先生(右)>

3月6日、新モンゴル高校生徒11名が来校しました。本校の生徒と交流し、両国の友好親善と相互理解を推進しました。



<交流風景>

<進路> 進路ガイダンス



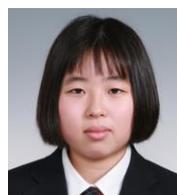
茂庭彩花さん
科学技術科1年
松陵中出身

3月6日(月)アリーナにおいて、19の大学・33の専門学校のガイダンスがあり、パンフレットだけでは知り得ない確かな情報を得て、自分にマッチした進路選択の糧としました。



<進路ガイダンス風景>

<探究科> ポスターセッション



渡邊舞桜さん
探究科1年
七郷中出身

3月7日(火)アリーナで、探究活動の成果を発表しました。19人の東北工業大学の教授の先生方からたくさんのご指導をいただき、次のポスターづくりに生かしたいと気持ちを新たにしました。



<ポスターセッション風景>

学校法人 東北工業大学

仙台城南高等学校

特進科

探究科

科学技術科

【発行元・お問い合わせ先】

仙台南高等学校 広報室

〒982-0836 仙台市太白区八木山松波町5番1号

Tel: 022-305-2111 (代表) Fax: 022-305-2114

ホームページ: <http://www.sendai-johnnan.ed.jp>



城南 HP トップ